

学位授与方針と各科目の関連(教育学部こども発達学科)

教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー	ディプロマ・ポリシー												備考
	知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
知識・理解													
1.自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2.教育・保育・心理・福祉の観点から、高く総合的な知性を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3.教育者・保育者として現代的課題に対応できる、実践的支援力を修得している。(専門分野に関する知識・理解)													
技能													
4.教育者・保育者としての課題を発見し、それに対応できる実践的技能を修得している。(問題発見・解決力) 5.国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)													
思考・判断・表現													
6.子どもや家庭、また、地域の教育・保育の社会的・文化的背景を理解したうえで、自分自身の態度や経験を考えることができる。(多文化での共生) 7.倫理観と公平・公正の精神をもつてものごとについて考え、教育者・保育者としての適切な判断を行なうことができる。(倫理観、公平・公正な判断) 8.多様な立場・観点からものごとをみつめるとともに、自身の考え方・意見を必要な表現手段を用いて効果的に発信することができる。(傾聴と発信)													
関心・意欲・態度													
9.生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10.教育者・保育者として、社会的な役割と責任とを果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 11.教育・保育・心理・福祉を中心とした幅広い知識と視野のもとに、様々な背景を持った他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12.現代的課題について、教育者・保育者として誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)													
幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観・公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践・奉仕動機		

科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)									
全学共通科目	共通科目	KGUキャリアデザイン入門(C)	○			○		○	○	○	○	○
全学共通科目	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎ⅠA	○			○		○	○	○	○	○
全学共通科目	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎ⅠB	○			○		○	○	○	○	○
全学共通科目	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎ⅠC	○			○		○	○	○	○	○
全学共通科目	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎ⅡA	○			○		○	○	○	○	○
全学共通科目	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎ⅡB	○			○		○	○	○	○	○
全学共通科目	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎ⅡC	○			○		○	○	○	○	○
全学共通科目	共通科目	KGUキャリアデザイン応用Ⅰ	○			○		○	○	○	○	○
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学(行政)	○	○	○	○		○	○	○	○	○
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学(経済)	○	○	○	○		○	○	○	○	○
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学(政治)	○	○	○	○		○	○	○	○	○
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学(スポーツ)	○	○	○	○		○	○	○	○	○
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学(歴史・文化)	○	○	○	○		○	○	○	○	○
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学(自然)	○	○	○	○		○	○	○	○	○
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学(健康)	○	○	○	○		○	○	○	○	○
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学(地域づくり)	○	○	○	○		○	○	○	○	○
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学(地域安全)	○	○	○	○		○	○	○	○	○
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学(コミュニティ)	○	○	○	○		○	○	○	○	○
全学共通科目	共通科目	KGUインターンシップⅠ(事前指導)	○			○		○	○	○	○	○
全学共通科目	共通科目	KGUインターンシップⅡ(実習)	○			○		○	○	○	○	○
共通科目	ゼミ	教養ゼミナール(青戸)	○			○	○		○	○	○	○
共通科目	ゼミ	教養ゼミナール(東(卓))	○			○	○		○	○	○	○
共通科目	ゼミ	教養ゼミナール(石渡)	○			○	○		○	○	○	○

学位授与方針と各科目の関連(教育学部こども発達学科)

学位授与方針と各科目の関連(教育学部こども発達学科)			ディプロマ・ポリシー											
教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度			
知識・理解	1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
1.自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2.教育・保育・心理・福祉の観点から、高く総合的な知性を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3.教育者・保育者として現代的課題に対応できる、実践的支援力を修得している。(専門分野に関する知識・理解)														
4.教育者・保育者としての課題を発見し、それに対応できる実践的技能を修得している。(問題発見・解決力) 5.国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)														
6.子どもや家庭、また、地域の教育・保育の社会的・文化的背景を理解したうえで、自分自身の態度や経験を考えることができる。(多文化での共生) 7.倫理観と公平・公正の精神をもつてものごとについて考え、教育者・保育者としての適切な判断を行うことができる。(倫理観、公平・公正な判断) 8.多様な立場・観点からものごとをみつめるとともに、自身の考え方・意見を必要な表現手段を用いて効果的に発信することができる。(傾聴と発信)														
9.生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10.教育者・保育者として、社会的な役割と責任とを果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 11.教育・保育・心理・福祉を中心とした幅広い知識と視野のもとに、様々な背景を持った他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12.現代的課題について、教育者・保育者として誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)														
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)											
共通科目	ゼミ	教養ゼミナール(伊藤(賀))	○			○	○		○	○	○	○	○	○
共通科目	ゼミ	教養ゼミナール(浮田)	○			○	○		○	○	○	○	○	○
共通科目	ゼミ	教養ゼミナール(大崎)	○			○	○		○	○	○	○	○	○
共通科目	ゼミ	教養ゼミナール(太田(俊))	○			○	○		○	○	○	○	○	○
共通科目	ゼミ	教養ゼミナール(小原)	○			○	○		○	○	○	○	○	○
共通科目	ゼミ	教養ゼミナール(久保)	○			○	○		○	○	○	○	○	○
共通科目	ゼミ	教養ゼミナール(黒田)	○			○	○		○	○	○	○	○	○
共通科目	ゼミ	教養ゼミナール(城倉)	○			○	○		○	○	○	○	○	○
共通科目	ゼミ	教養ゼミナール(鈴木(公))	○			○	○		○	○	○	○	○	○
共通科目	ゼミ	教養ゼミナール(土谷)	○			○	○		○	○	○	○	○	○
共通科目	ゼミ	教養ゼミナール(照沼)	○			○	○		○	○	○	○	○	○
共通科目	ゼミ	教養ゼミナール(藤馬)	○			○	○		○	○	○	○	○	○
共通科目	ゼミ	教養ゼミナール(三谷)	○			○	○		○	○	○	○	○	○
共通科目	ゼミ	教養ゼミナール(山下)	○			○	○		○	○	○	○	○	○
共通科目	ゼミ	教養ゼミナール(横浜)	○			○	○		○	○	○	○	○	○
共通科目	キリスト教分野	キリスト教学(A)	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
共通科目	キリスト教分野	キリスト教学(B)	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
共通科目	キリスト教分野	キリスト教と現代社会(A)	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
共通科目	キリスト教分野	キリスト教と現代社会(B)	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
共通科目	キリスト教分野	キリスト教と現代思想(A)	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
共通科目	キリスト教分野	キリスト教と現代思想(B)	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
共通科目	キリスト教分野	旧約聖書の思想	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
共通科目	キリスト教分野	新約聖書の思想	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○

備考

学位授与方針と各科目の関連(教育学部こども発達学科)

教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー			ディプロマ・ポリシー											備考	
			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13				
教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー	知識・理解	1.自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2.教育・保育・心理・福祉の観点から、高く総合的な知性を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3.教育者・保育者として現代的課題に対応できる、実践的支援力を修得している。(専門分野に関する知識・理解)	幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	倫理観・公平・公正な判断	多文化での共生	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機	
教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー	技能	4.教育者・保育者としての課題を発見し、それに対応できる実践的技能を修得している。(問題発見・解決力) 5.国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)													
教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー	思考・判断・表現	6.子どもや家庭、また、地域の教育・保育の社会的・文化的背景を理解したうえで、自分自身の態度や経験を考えることができる。(多文化での共生) 7.倫理観と公平・公正の精神をもつてものごとについて考え、教育者・保育者としての適切な判断を行なうことができる。(倫理観、公平・公正な判断) 8.多様な立場・観点からものごとをみつめるとともに、自身の考え方・意見を必要な表現手段を用いて効果的に発信することができる。(傾聴と発信)													
教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー	関心・意欲・態度	9.生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10.教育者・保育者として、社会的な役割と責任とを果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 11.教育・保育・心理・福祉を中心とした幅広い知識と視野のもとに、様々な背景を持った他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12.現代的課題について、教育者・保育者として誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)													
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)												
共通科目	キリスト教分野	キリスト教の成立	○			○	○	○	○	○	○	○	○		
共通科目	キリスト教分野	キリスト教の発展	○			○	○	○	○	○	○	○	○		
共通科目	キリスト教分野	キリスト教と欧米文化	○			○	○	○	○	○	○	○	○		
共通科目	キリスト教分野	キリスト教と近代日本文化	○			○	○	○	○	○	○	○	○		
共通科目	人文分野	哲学 I (哲学入門)	○	○		○		○	○	○	○		○		
共通科目	人文分野	哲学 II (哲学と現代)	○	○		○		○	○	○	○		○		
共通科目	人文分野	宗教文化論	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		
共通科目	人文分野	人と歴史	○			○		○	○	○	○	○	○		
共通科目	人文分野	文化人類学	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		
共通科目	人文分野	近代日本文学	○	○		○		○	○	○	○		○		
共通科目	人文分野	日本神話の世界	○			○		○			○		○		
共通科目	人文分野	日本近現代史	○			○	○	○	○	○	○		○		
共通科目	人文分野	イギリス文学	○	○		○		○	○	○	○		○		
共通科目	人文分野	アメリカ文学	○	○		○		○	○	○	○		○		
共通科目	人文分野	フランス文学	○	○		○		○	○	○	○		○		
共通科目	人文分野	ドイツ文学	○	○		○		○	○	○	○		○		
共通科目	人文分野	現代中国文化	○			○	○	○			○		○		
共通科目	人文分野	現代韓国文化	○			○	○	○			○		○		
共通科目	人文分野	音楽と文化	○			○		○			○		○		
共通科目	人文分野	音楽とキリスト教	○			○		○			○		○		
共通科目	人文分野	環境と音楽	○			○		○			○		○		
共通科目	人文分野	美術史	○			○	○	○			○		○		
共通科目	人文分野	女性の生活文化史	○			○		○			○		○		

学位授与方針と各科目の関連(教育学部こども発達学科)

教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー			ディプロマ・ポリシー											備考	
			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13				
教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー	知識・理解	1.自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2.教育・保育・心理・福祉の観点から、高く総合的な知性を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3.教育者・保育者として現代的課題に対応できる、実践的支援力を修得している。(専門分野に関する知識・理解)	幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	倫理観・公平・公正な判断	多文化での共生	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機	
教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー	技能	4.教育者・保育者としての課題を発見し、それに対応できる実践的技能を修得している。(問題発見・解決力) 5.国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)													
教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー	思考・判断・表現	6.子どもや家庭、また、地域の教育・保育の社会的・文化的背景を理解したうえで、自分自身の態度や経験を考えることができる。(多文化での共生) 7.倫理観と公平・公正の精神をもつてものごとについて考え、教育者・保育者としての適切な判断を行なうことができる。(倫理観、公平・公正な判断) 8.多様な立場・観点からものごとをみつめるとともに、自身の考え方・意見を必要な表現手段を用いて効果的に発信することができる。(傾聴と発信)													
教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー	関心・意欲・態度	9.生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10.教育者・保育者として、社会的な役割と責任とを果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 11.教育・保育・心理・福祉を中心とした幅広い知識と視野のもとに、様々な背景を持った他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12.現代的課題について、教育者・保育者として誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)													
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)												
共通科目	人文分野	食文化史	○			○		○			○			○	
共通科目	人文分野	甘えの心理学	○	○		○		○			○			○	
共通科目	人文分野	青年の心理	○			○		○			○	○		○	
共通科目	社会分野	市民社会の思想	○			○			○		○	○		○	
共通科目	社会分野	共生の倫理	○			○	○	○	○		○		○	○	
共通科目	社会分野	人と法	○			○			○		○			○	
共通科目	社会分野	日本国憲法(A)	○			○			○		○			○	
共通科目	社会分野	日本国憲法(B)	○			○			○		○			○	
共通科目	社会分野	経済学	○	○		○			○		○	○		○	
共通科目	社会分野	経営学	○	○		○			○		○	○		○	
共通科目	社会分野	政治学入門	○	○		○			○		○	○		○	
共通科目	社会分野	社会学	○	○		○	○	○	○		○	○		○	
共通科目	社会分野	家族社会学	○	○		○			○		○	○		○	
共通科目	社会分野	現代社会と若者	○			○			○		○	○		○	
共通科目	社会分野	ジェンダー論	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	
共通科目	社会分野	セクシュアリティ論	○	○		○			○		○	○		○	
共通科目	自然分野	生命と科学	○	○		○			○		○			○	
共通科目	自然分野	生物と環境	○			○			○		○			○	
共通科目	自然分野	自然と環境	○			○			○		○			○	
共通科目	自然分野	地理学	○	○		○					○			○	
共通科目	自然分野	天文学	○	○		○					○			○	
共通科目	自然分野	科学史	○			○					○			○	
共通科目	自然分野	数学	○	○		○					○			○	

学位授与方針と各科目の関連(教育学部こども発達学科)

教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー	ディプロマ・ポリシー												備考
	知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
知識・理解 1.自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2.教育・保育・心理・福祉の観点から、高く総合的な知性を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3.教育者・保育者として現代的課題に対応できる、実践的支援力を修得している。(専門分野に関する知識・理解)		専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力		倫理観・公平・公正な判断		生涯学び続ける意欲		チームワーク、他者との協働		建学の精神の実践・奉仕動機	
技能 4.教育者・保育者としての課題を発見し、それに対応できる実践的技能を修得している。(問題発見・解決力) 5.国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)		幅広い教養		国際協働力	多文化での共生	傾聴と発信		社会参加への主体性					
思考・判断・表現 6.子どもや家庭、また、地域の教育・保育の社会的・文化的背景を理解したうえで、自分自身の態度や経験を考えることができる。(多文化での共生) 7.倫理観と公平・公正の精神をもつてものごとについて考え、教育者・保育者としての適切な判断を行なうことができる。(倫理観、公平・公正な判断) 8.多様な立場・観点からものごとをみつめるとともに、自身の考え方・意見を必要な表現手段を用いて効果的に発信することができる。(傾聴と発信)													
関心・意欲・態度 9.生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10.教育者・保育者として、社会的な役割と責任とを果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 11.教育・保育・心理・福祉を中心とした幅広い知識と視野のもとに、様々な背景を持った他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12.現代的課題について、教育者・保育者として誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)													

科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)									
共通科目	自然分野	統計学	○	○		○				○		○
共通科目	生活芸術分野	土のデザイン(陶芸基礎)(A)	○			○		○		○		○
共通科目	生活芸術分野	土のデザイン(陶芸基礎)(B)	○			○		○		○		○
共通科目	生活芸術分野	花のデザイン(華道)(A)	○			○		○		○		○
共通科目	生活芸術分野	花のデザイン(華道)(B)	○			○		○		○		○
共通科目	生活芸術分野	茶道(基礎)(A)	○			○		○		○		○
共通科目	生活芸術分野	茶道(基礎)(B)	○			○		○		○		○
共通科目	コンピュータ・リテラシー分野	コンピュータ・リテラシー(A)	○			○		○	○	○	○	○
共通科目	コンピュータ・リテラシー分野	コンピュータ・リテラシー(B)	○			○		○	○	○	○	○
共通科目	コンピュータ・リテラシー分野	コンピュータ・リテラシー(C)	○			○		○	○	○	○	○
共通科目	コンピュータ・リテラシー分野	コンピュータ・リテラシー(D)	○			○		○	○	○	○	○
共通科目	コンピュータ・リテラシー分野	コンピュータ・リテラシー(E)	○			○		○	○	○	○	○
共通科目	コンピュータ・リテラシー分野	コンピュータ・リテラシー(F)	○			○		○	○	○	○	○
共通科目	コンピュータ・リテラシー分野	コンピュータ・リテラシー(G)	○			○		○	○	○	○	○
共通科目	コンピュータ・リテラシー分野	コンピュータ・リテラシー(H)	○			○		○	○	○	○	○
共通科目	コンピュータ・リテラシー分野	コンピュータ・リテラシー(I)	○			○		○	○	○	○	○
共通科目	コンピュータ・リテラシー分野	コンピュータ・リテラシー(J)	○			○		○	○	○	○	○
共通科目	コンピュータ・リテラシー分野	コンピュータ・リテラシー(K)	○			○		○	○	○	○	○
共通科目	コンピュータ・リテラシー分野	Webコンテンツ作成(A)	○			○		○		○		○
共通科目	コンピュータ・リテラシー分野	Webコンテンツ作成(B)	○			○		○		○		○
共通科目	コンピュータ・リテラシー分野	Webコンテンツ作成(C)	○			○		○		○		○
共通科目	コンピュータ・リテラシー分野	数値データ処理(A)	○			○		○		○	○	○
共通科目	コンピュータ・リテラシー分野	数値データ処理(B)	○			○		○		○	○	○

ディプロマ・ポリシー											
知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度			
1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー	幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識	問題発見・解決力	国際協働力	倫理観・公平・公正な判断	多文化での共生	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク・他者との協働	建学の精神の実践・奉仕動機
知識・理解 1.自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2.教育・保育・心理・福祉の観点から、高く総合的な知性を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3.教育者・保育者として現代的課題に対応できる、実践的支援力を修得している。(専門分野に関する知識・理解)											
技能 4.教育者・保育者としての課題を発見し、それに対応できる実践的技能を修得している。(問題発見・解決力) 5.国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)											
思考・判断・表現 6.子どもや家庭、また、地域の教育・保育の社会的・文化的背景を理解したうえで、自分自身の態度や経験を考えることができる。(多文化での共生) 7.倫理観と公平・公正の精神をもつてものごとについて考え、教育者・保育者としての適切な判断を行うことができる。(倫理観、公平・公正な判断) 8.多様な立場・観点からものごとをみつめるとともに、自身の考え方・意見を必要な表現手段を用いて効果的に発信することができる。(傾聴と発信)											
関心・意欲・態度 9.生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10.教育者・保育者として、社会的な役割と責任を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 11.教育・保育・心理・福祉を中心とした幅広い知識と視野のもとに、様々な背景を持った他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12.現代的課題について、教育者・保育者として誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)											
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)								
共通科目	コンピュータ・リテラシー分野	プレゼンテーション・ソフトの活用(A)	○		○		○	○	○		○
共通科目	コンピュータ・リテラシー分野	プレゼンテーション・ソフトの活用(B)	○		○		○	○	○		○
共通科目	コンピュータ・リテラシー分野	データベース・ソフトの活用(A)	○		○		○	○	○		○
共通科目	コンピュータ・リテラシー分野	データベース・ソフトの活用(B)	○		○		○	○	○		○
共通科目	コンピュータ・リテラシー分野	文書作成ソフトの活用	○		○		○	○	○		○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル1)(A)	○		○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル1)(B)	○		○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル1)(C)	○		○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル1)(D)	○		○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル1)(E)	○		○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル1)(F)	○		○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル1)(G)	○		○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル1)(H)	○		○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル1)(I)	○		○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル1)(J)	○		○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル1)(K)	○		○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル1)(L)	○		○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル1)(M)	○		○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル1)(N)	○		○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル1)(O)	○		○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル1)(P)	○		○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル1)(Q)	○		○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル1)(R)	○		○	○	○	○	○	○	○

備考

学位授与方針と各科目の関連(教育学部こども発達学科)

教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー	ディプロマ・ポリシー											
	知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度			
1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
知識・理解 1.自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2.教育・保育・心理・福祉の観点から、高く総合的な知性を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3.教育者・保育者として現代的課題に対応できる、実践的支援力を修得している。(専門分野に関する知識・理解)	幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	倫理観・公平・公正な判断	多文化での共生	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機	
技能 4.教育者・保育者としての課題を発見し、それに対応できる実践的技能を修得している。(問題発見・解決力) 5.国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)												
思考・判断・表現 6.子どもや家庭、また、地域の教育・保育の社会的・文化的背景を理解したうえで、自分自身の態度や経験を考えることができる。(多文化での共生) 7.倫理観と公平・公正の精神をもつてものごとについて考え、教育者・保育者としての適切な判断を行なうことができる。(倫理観、公平・公正な判断) 8.多様な立場・観点からものごとをみつめるとともに、自身の考え方・意見を必要な表現手段を用いて効果的に発信することができる。(傾聴と発信)												
関心・意欲・態度 9.生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10.教育者・保育者として、社会的な役割と責任とを果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 11.教育・保育・心理・福祉を中心とした幅広い知識と視野のもとに、様々な背景を持った他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12.現代的課題について、教育者・保育者として誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)												

科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)									
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル1)(S)	○			○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル2)(A)	○			○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル2)(B)	○			○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル2)(C)	○			○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル2)(D)	○			○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル2)(E)	○			○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル2)(F)	○			○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル2)(G)	○			○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル2)(H)	○			○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル2)(I)	○			○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル2)(J)	○			○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル2)(K)	○			○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル2)(L)	○			○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル2)(M)	○			○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル2)(N)	○			○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル2)(O)	○			○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル2)(P)	○			○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル2)(Q)	○			○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル2)(R)	○			○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル2)(S)	○			○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル3)(A)	○			○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル3)(B)	○			○	○	○	○	○	○	○
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル3)(C)	○			○	○	○	○	○	○	○

備考

学位授与方針と各科目の関連(教育学部こども発達学科)												ディプロマ・ポリシー																						
教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー												知識・理解																						
												知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度														
1												専門分野に関する知識・理解			地域に関する知識		問題発見・解決力			倫理観・公平・公正な判断			多文化での共生											
2-3												国際協働力			生涯学び続ける意欲		傾聴と発信			社会参加への主体性			チームワーク・他者との協働											
4												建学の精神の実践・奉仕動機			備考																			
知識・理解												1.自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2.教育・保育・心理・福祉の観点から、高く総合的な知性を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3.教育者・保育者として現代的課題に対応できる、実践的支援力を修得している。(専門分野に関する知識・理解)																						
技能												4.教育者・保育者としての課題を発見し、それに対応できる実践的技能を修得している。(問題発見・解決力) 5.国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)																						
思考・判断・表現												6.子どもや家庭、また、地域の教育・保育の社会的・文化的背景を理解したうえで、自分自身の態度や経験を考えることができる。(多文化での共生) 7.倫理観と公平・公正の精神をもつてものごとについて考え、教育者・保育者としての適切な判断を行なうことができる。(倫理観、公平・公正な判断) 8.多様な立場・観点からものごとをみつめるとともに、自身の考え方・意見を必要な表現手段を用いて効果的に発信することができる。(傾聴と発信)																						
関心・意欲・態度												9.生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10.教育者・保育者として、社会的な役割と責任とを果たすうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 11.教育・保育・心理・福祉を中心とした幅広い知識と視野のもとに、様々な背景を持った他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12.現代的課題について、教育者・保育者として誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)																						
科目区分		分野		時間割名						◎(当てはまる)						○(一部当てはまる)																		
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル4)(A)		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル4)(B)		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル4)(C)		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												
共通科目	英語分野	英語リスニング・スキルズ(レベル3)		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												
共通科目	英語分野	英語リスニング・スキルズ(レベル4)		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												
共通科目	英語分野	英語読解(レベル3)		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												
共通科目	英語分野	英語読解(レベル4)		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル5)		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												
共通科目	英語分野	英語コミュニケーション・スキルズ(レベル6)		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												
共通科目	英語分野	TOEIC英語(レベル5)		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												
共通科目	英語分野	TOEIC英語(レベル6)		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												
共通科目	英語分野	リミディアル・イングリッシュ(A)		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												
共通科目	英語分野	リミディアル・イングリッシュ(B)		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												
共通科目	その他の外国語分野	フランス語Ⅰ(A)		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												
共通科目	その他の外国語分野	フランス語Ⅰ(B)		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												
共通科目	その他の外国語分野	フランス語Ⅱ(A)		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												
共通科目	その他の外国語分野	フランス語Ⅱ(B)		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												
共通科目	その他の外国語分野	中国語Ⅰ(A)		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												
共通科目	その他の外国語分野	中国語Ⅰ(B)		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												
共通科目	その他の外国語分野	中国語Ⅰ(C)		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												
共通科目	その他の外国語分野	中国語Ⅱ(A)		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												
共通科目	その他の外国語分野	中国語Ⅱ(B)		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												
共通科目	その他の外国語分野	中国語Ⅲ		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												

学位授与方針と各科目の関連(教育学部こども発達学科)

ディプロマ・ポリシー													備考	
知識・理解 技能 思考・判断・表現 関心・意欲・態度														
1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13			
教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー														
知識・理解														
1.自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2.教育・保育・心理・福祉の観点から、高く総合的な知性を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3.教育者・保育者として現代的課題に対応できる、実践的支援力を修得している。(専門分野に関する知識・理解)														
技能														
4.教育者・保育者としての課題を発見し、それに対応できる実践的技能を修得している。(問題発見・解決力) 5.国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)														
思考・判断・表現														
6.子どもや家庭、また、地域の教育・保育の社会的・文化的背景を理解したうえで、自分自身の態度や経験を考えることができる。(多文化での共生) 7.倫理観と公平・公正の精神をもつてものごとについて考え、教育者・保育者としての適切な判断を行なうことができる。(倫理観、公平・公正な判断) 8.多様な立場・観点からものごとをみつめるとともに、自身の考え方・意見を必要な表現手段を用いて効果的に発信することができる。(傾聴と発信)														
関心・意欲・態度														
9.生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10.教育者・保育者として、社会的な役割と責任とを果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 11.教育・保育・心理・福祉を中心とした幅広い知識と視野のもとに、様々な背景を持った他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12.現代的課題について、教育者・保育者として誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)														
幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観・公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践・奉仕動機			
科目区分	分野	時間割名 ◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)												
共通科目	その他の外国語分野	ハンガル I (A)	○			○	○	○	○	○	○	○		
共通科目	その他の外国語分野	ハンガル I (B)	○			○	○	○	○	○	○	○		
共通科目	その他の外国語分野	ハンガル II	○			○	○	○	○	○	○	○		
共通科目	その他の外国語分野	ハンガル III	○			○	○	○	○	○	○	○		
共通科目	その他の外国語分野	日本語理解 I	○			○	○	○	○	○	○	○		
共通科目	その他の外国語分野	日本語理解 II	○			○	○	○	○	○	○	○		
共通科目	保健体育分野	健康スポーツ I (A)(テニス)	○			○		○	○	○	○	○		
共通科目	保健体育分野	健康スポーツ I (B)(バドミントン・卓球)	○			○		○	○	○	○	○		
共通科目	保健体育分野	健康スポーツ I (C)(フットサル・アルティメット)	○			○		○	○	○	○	○		
共通科目	保健体育分野	健康スポーツ I (D)(ハーネー・バスケットボール・バドミントン)	○			○		○	○	○	○	○		
共通科目	保健体育分野	健康スポーツ I (E)(バドミントン・ハーネー)	○			○		○	○	○	○	○		
共通科目	保健体育分野	健康スポーツ I (H)(運動処方)	○			○		○	○	○	○	○		
共通科目	保健体育分野	健康スポーツ II (A)(バスケットボール・ハーネー)	○			○		○	○	○	○	○		
共通科目	保健体育分野	健康スポーツ II (B)(ニュースポーツ・卓球)	○			○		○	○	○	○	○		
共通科目	保健体育分野	健康スポーツ II (C)(卓球)	○			○		○	○	○	○	○		
共通科目	保健体育分野	健康スポーツ II (D)(卓球)	○			○		○	○	○	○	○		
共通科目	保健体育分野	健康スポーツ II (E)(バスケットボール・ニュースポーツ)	○			○		○	○	○	○	○		
共通科目	保健体育分野	健康スポーツ II (H)(運動処方)	○			○		○	○	○	○	○		
共通科目	保健体育分野	健康スポーツ III (A)(フィットネス&ダンス)	○			○		○	○	○	○	○		
共通科目	保健体育分野	健康スポーツ III (B)(ハーネー・卓球)	○			○		○	○	○	○	○		
共通科目	保健体育分野	健康スポーツ III (C)(フットサル・アルティメット)	○			○		○	○	○	○	○		
共通科目	保健体育分野	健康スポーツ IV (A)(フィットネス&ダンス)	○			○		○	○	○	○	○		
共通科目	保健体育分野	健康スポーツ IV (B)(卓球・レクリエーション)	○			○		○	○	○	○	○		

学位授与方針と各科目の関連(教育学部こども発達学科)

ディプロマ・ポリシー													備考	
知識・理解 技能 思考・判断・表現 関心・意欲・態度														
1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13			
教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー														
知識・理解														
1.自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2.教育・保育・心理・福祉の観点から、高く総合的な知性を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3.教育者・保育者として現代的課題に対応できる、実践的支援力を修得している。(専門分野に関する知識・理解)														
技能														
4.教育者・保育者としての課題を発見し、それに対応できる実践的技能を修得している。(問題発見・解決力) 5.国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)														
思考・判断・表現														
6.子どもや家庭、また、地域の教育・保育の社会的・文化的背景を理解したうえで、自分自身の態度や経験を考えることができる。(多文化での共生) 7.倫理観と公平・公正の精神をもつてものごとについて考え、教育者・保育者としての適切な判断を行なうことができる。(倫理観、公平・公正な判断) 8.多様な立場・観点からものごとをみつめるとともに、自身の考え方・意見を必要な表現手段を用いて効果的に発信することができる。(傾聴と発信)														
関心・意欲・態度														
9.生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10.教育者・保育者として、社会的な役割と責任とを果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 11.教育・保育・心理・福祉を中心とした幅広い知識と視野のもとに、様々な背景を持った他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12.現代的課題について、教育者・保育者として誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)														
幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観・公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践・奉仕動機			
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)											
共通科目	保健体育分野	健康スポーツIV(C)(フットサル・アルティメット)	○			○		○	○	○	○	○		
共通科目	保健体育分野	健康スポーツV(バドミントン・ハーネボール)	○			○		○	○	○	○	○		
共通科目	保健体育分野	健康スポーツVI(バドミントン・バスケットボール)	○			○		○	○	○	○	○		
共通科目	その他分野	海外語学演習(英語)(春学期認定)	○			○	○	○		○	○	○		
共通科目	その他分野	海外語学演習(英語)(秋学期認定)	○			○	○	○		○	○	○		
共通科目	その他分野	海外語学演習(中国語)(春学期認定)	○			○	○	○		○	○	○		
共通科目	その他分野	海外語学演習(中国語)(秋学期認定)	○			○	○	○		○	○	○		
共通科目	その他分野	海外語学演習(韓国語)(春学期認定)	○			○	○	○		○	○	○		
共通科目	その他分野	海外語学演習(韓国語)(秋学期認定)	○			○	○	○		○	○	○		
共通科目	その他分野	海外語学演習(フランス語)(春学期認定)	○			○	○	○		○	○	○		
共通科目	その他分野	海外語学演習(フランス語)(秋学期認定)	○			○	○	○		○	○	○		
共通科目	その他分野	海外語学演習(ドイツ語)(春学期認定)	○			○	○	○		○	○	○		
共通科目	その他分野	海外語学演習(ドイツ語)(秋学期認定)	○			○	○	○		○	○	○		
専門科目	学科基幹科目	こども発達論 I		◎		○			○	○		○		
専門科目	学科基幹科目	キリスト教と教育		◎		○			○	○		○		
専門科目	学科基幹科目	こども発達論 II		◎	○	○			○	○		○		
専門科目	教育・保育分野	教職概論(A)		◎		○			○	○		○		
専門科目	教育・保育分野	教職概論(B)		◎		○			○	○		○		
専門科目	教育・保育分野	教育原理(A)		◎		○			○	○		○		
専門科目	教育・保育分野	教育原理(B)		◎		○			○	○		○		
専門科目	教育・保育分野	教育行政学		◎		○			○	○		○		
専門科目	教育・保育分野	教育の歴史		◎		○			○	○		○		
専門科目	教育・保育分野	子育て支援総論		◎		○			○	○		○		

学位授与方針と各科目の関連(教育学部こども発達学科)

学位授与方針と各科目の関連(教育学部こども発達学科)			ディプロマ・ポリシー										
教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度		
知識・理解	1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
1.自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2.教育・保育・心理・福祉の観点から、高く総合的な知性を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3.教育者・保育者として現代的課題に対応できる、実践的支援力を修得している。(専門分野に関する知識・理解)													
4.教育者・保育者としての課題を発見し、それに対応できる実践的技能を修得している。(問題発見・解決力) 5.国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)													
6.子どもや家庭、また、地域の教育・保育の社会的・文化的背景を理解したうえで、自分自身の態度や経験を考えることができる。(多文化での共生) 7.倫理観と公平・公正の精神をもつてものごとについて考え、教育者・保育者としての適切な判断を行うことができる。(倫理観、公平・公正な判断) 8.多様な立場・観点からものごとをみつめるとともに、自身の考え方・意見を必要な表現手段を用いて効果的に発信することができる。(傾聴と発信)													
9.生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10.教育者・保育者として、社会的な役割と責任を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 11.教育・保育・心理・福祉を中心とした幅広い知識と視野のもとに、様々な背景を持った他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12.現代的課題について、教育者・保育者として誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)													
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)										
専門科目	教育・保育分野	子育て学	◎	○					○	○			○
専門科目	教育・保育分野	保育原理(A)	◎	○					○	○			○
専門科目	教育・保育分野	保育原理(B)	◎	○					○	○			○
専門科目	教育・保育分野	保育者論(A)	◎	○					○	○			○
専門科目	教育・保育分野	保育者論(B)	◎	○					○	○			○
専門科目	教育・保育分野	保育実践研究	◎	○					○	○			○
専門科目	教育・保育分野	教育工学	◎	○					○	○			○
専門科目	教育・保育分野	保育方法論(A)	◎	○					○	○			○
専門科目	教育・保育分野	保育方法論(B)	◎	○					○	○			○
専門科目	教育・保育分野	カリキュラム論(A)	◎	○					○	○			○
専門科目	教育・保育分野	カリキュラム論(B)	◎	○					○	○			○
専門科目	教育・保育分野	保育内容総論(A)	◎	○					○	○			○
専門科目	教育・保育分野	保育内容総論(B)	◎	○					○	○			○
専門科目	教育・保育分野	保育内容総論(C)	◎	○					○	○			○
専門科目	教育・保育分野	子どもの理解と援助	◎	○					○	○			○
専門科目	教育・保育分野	保育内容指導法・健康Ⅰ(A)	◎	○					○	○			○
専門科目	教育・保育分野	保育内容指導法・健康Ⅰ(B)	◎	○					○	○			○
専門科目	教育・保育分野	保育内容指導法・健康Ⅰ(C)	◎	○					○	○			○
専門科目	教育・保育分野	保育内容指導法・健康Ⅱ	◎	○					○	○			○
専門科目	教育・保育分野	保育内容指導法・人間関係Ⅰ(A)	◎	○					○	○			○
専門科目	教育・保育分野	保育内容指導法・人間関係Ⅰ(B)	◎	○					○	○			○
専門科目	教育・保育分野	保育内容指導法・人間関係Ⅰ(C)	◎	○					○	○			○
専門科目	教育・保育分野	保育内容指導法・人間関係Ⅱ	◎	○					○	○			○

備考

備考

学位授与方針と各科目の関連(教育学部こども発達学科)

教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー			ディプロマ・ポリシー											備考	
			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13				
教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー	知識・理解	1.自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2.教育・保育・心理・福祉の観点から、高く総合的な知性を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3.教育者・保育者として現代的課題に対応できる、実践的支援力を修得している。(専門分野に関する知識・理解)	幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	倫理観・公平・公正な判断	多文化での共生	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機	
教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー	技能	4.教育者・保育者としての課題を発見し、それに対応できる実践的技能を修得している。(問題発見・解決力) 5.国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)													
教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー	思考・判断・表現	6.子どもや家庭、また、地域の教育・保育の社会的・文化的背景を理解したうえで、自分自身の態度や経験を考えることができる。(多文化での共生) 7.倫理観と公平・公正の精神をもつてものごとについて考え、教育者・保育者としての適切な判断を行うことができる。(倫理観、公平・公正な判断) 8.多様な立場・観点からものごとをみつめるとともに、自身の考え方・意見を必要な表現手段を用いて効果的に発信することができる。(傾聴と発信)													
教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー	関心・意欲・態度	9.生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10.教育者・保育者として、社会的な役割と責任とを果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 11.教育・保育・心理・福祉を中心とした幅広い知識と視野のもとに、様々な背景を持った他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12.現代的課題について、教育者・保育者として誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)													
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)												
専門科目	教育・保育分野	保育内容指導法・環境 I (A)	◎		◎				◎	○			○		
専門科目	教育・保育分野	保育内容指導法・環境 I (B)	◎		◎				◎	○			○		
専門科目	教育・保育分野	保育内容指導法・環境 I (C)	◎		◎				◎	○			○		
専門科目	教育・保育分野	保育内容指導法・環境 II	◎		◎				◎	○			○		
専門科目	教育・保育分野	保育内容指導法・言葉 I (A)	◎		◎				◎	○			○		
専門科目	教育・保育分野	保育内容指導法・言葉 I (B)	◎		◎				◎	○			○		
専門科目	教育・保育分野	保育内容指導法・言葉 I (C)	◎		◎				◎	○			○		
専門科目	教育・保育分野	保育内容指導法・言葉 II	◎		◎				◎	○			○		
専門科目	教育・保育分野	保育内容指導法・表現 I (A)	◎		◎				◎	○			○		
専門科目	教育・保育分野	保育内容指導法・表現 I (B)	◎		◎				◎	○			○		
専門科目	教育・保育分野	保育内容指導法・表現 I (C)	◎		◎				◎	○			○		
専門科目	教育・保育分野	保育内容指導法・表現 II	◎		◎				◎	○			○		
専門科目	教育・保育分野	音楽表現演習(A)	◎		◎				◎	○			○		
専門科目	教育・保育分野	音楽表現演習(B)	◎		◎				◎	○			○		
専門科目	教育・保育分野	造形表現演習(A)	◎		◎				◎	○			○		
専門科目	教育・保育分野	造形表現演習(B)	◎		◎				◎	○			○		
専門科目	教育・保育分野	身体表現	◎		◎				◎	○			○		
専門科目	教育・保育分野	こどもとアート	◎		◎				◎	○			○		
専門科目	教育・保育分野	乳児保育(A)	◎		◎				◎	○			○		
専門科目	教育・保育分野	乳児保育(B)	◎		◎				◎	○			○		
専門科目	教育・保育分野	乳児保育(C)	◎		◎				◎	○			○		
専門科目	教育・保育分野	乳児保育 I (A)	◎		◎				◎	○			○		
専門科目	教育・保育分野	乳児保育 I (B)	◎		◎				◎	○			○		

備考

学位授与方針と各科目の関連(教育学部こども発達学科)

ディプロマ・ポリシー												
知識・理解 技能 思考・判断・表現 関心・意欲・態度												
1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー												
知識・理解												
1.自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2.教育・保育・心理・福祉の観点から、高く総合的な知性を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3.教育者・保育者として現代的課題に対応できる、実践的支援力を修得している。(専門分野に関する知識・理解)												
技能												
4.教育者・保育者としての課題を発見し、それに対応できる実践的技能を修得している。(問題発見・解決力) 5.国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)												
思考・判断・表現												
6.子どもや家庭、また、地域の教育・保育の社会的・文化的背景を理解したうえで、自分自身の態度や経験を考えることができる。(多文化での共生) 7.倫理観と公平・公正の精神をもつてものごとについて考え、教育者・保育者としての適切な判断を行なうことができる。(倫理観、公平・公正な判断) 8.多様な立場・観点からものごとをみつめるとともに、自身の考え方・意見を必要な表現手段を用いて効果的に発信することができる。(傾聴と発信)												
関心・意欲・態度												
9.生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10.教育者・保育者として、社会的な役割と責任とを果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 11.教育・保育・心理・福祉を中心とした幅広い知識と視野のもとに、様々な背景を持った他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12.現代的課題について、教育者・保育者として誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)												
幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観・公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践・奉仕動機	

備考

科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)									
専門科目	教育・保育分野	乳児保育Ⅱ(A)	○		○			○	○			○
専門科目	教育・保育分野	乳児保育Ⅱ(B)	○		○			○	○			○
専門科目	教育・保育分野	社会的養護内容(A)	○		○			○	○			○
専門科目	教育・保育分野	社会的養護内容(B)	○		○			○	○			○
専門科目	教育・保育分野	社会的養護内容(C)	○		○			○	○			○
専門科目	教育・保育分野	障害児保育(A)	○		○			○	○			○
専門科目	教育・保育分野	障害児保育(B)	○		○			○	○			○
専門科目	教育・保育分野	障害児保育(C)	○		○			○	○			○
専門科目	教育・保育分野	道徳の指導法(A)	○		○			○	○			○
専門科目	教育・保育分野	道徳の指導法(B)	○		○			○	○			○
専門科目	教育・保育分野	道徳の理論及び指導法(A)	○		○			○	○			○
専門科目	教育・保育分野	道徳の理論及び指導法(B)	○		○			○	○			○
専門科目	教育・保育分野	特別活動の指導法(A)	○		○			○	○			○
専門科目	教育・保育分野	特別活動の指導法(B)	○		○			○	○			○
専門科目	教育・保育分野	特別活動の指導法及び総合的な学習の時間の指導法	○		○			○	○			○
専門科目	教育・保育分野	教育方法論(A)	○		○			○	○			○
専門科目	教育・保育分野	教育方法論(B)	○		○			○	○			○
専門科目	教育・保育分野	生徒・進路指導論(A)	○		○			○	○			○
専門科目	教育・保育分野	生徒・進路指導論(B)	○		○			○	○			○
専門科目	教育・保育分野	特別支援教育総論	○		○			○	○			○
専門科目	教育・保育分野	特別支援指導法	○		○			○	○			○
専門科目	教育・保育分野	初等教科教育法(国語)(A)	○		○			○	○			○
専門科目	教育・保育分野	初等教科教育法(国語)(B)	○		○			○	○			○

学位授与方針と各科目の関連(教育学部こども発達学科)

教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー	ディプロマ・ポリシー												備考
	知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
知識・理解													
1.自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2.教育・保育・心理・福祉の観点から、高く総合的な知性を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3.教育者・保育者として現代的課題に対応できる、実践的支援力を修得している。(専門分野に関する知識・理解)													
技能													
4.教育者・保育者としての課題を発見し、それに対応できる実践的技能を修得している。(問題発見・解決力) 5.国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)													
思考・判断・表現													
6.子どもや家庭、また、地域の教育・保育の社会的・文化的背景を理解したうえで、自分自身の態度や経験を考えることができる。(多文化での共生) 7.倫理観と公平・公正の精神をもつてものごとについて考え、教育者・保育者としての適切な判断を行なうことができる。(倫理観、公平・公正な判断) 8.多様な立場・観点からものごとをみつめるとともに、自身の考え方・意見を必要な表現手段を用いて効果的に発信することができる。(傾聴と発信)													
関心・意欲・態度													
9.生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10.教育者・保育者として、社会的な役割と責任とを果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 11.教育・保育・心理・福祉を中心とした幅広い知識と視野のもとに、様々な背景を持った他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12.現代的課題について、教育者・保育者として誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)													
幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観・公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク・他者との協働	建学の精神の実践・奉仕動機		

科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる)			○(一部当てはまる)					
専門科目	教育・保育分野	初等教科教育法(社会)(A)	◎		◎			◎	○		○
専門科目	教育・保育分野	初等教科教育法(社会)(B)	◎		◎			◎	○		○
専門科目	教育・保育分野	初等教科教育法(算数)(A)	◎		◎			◎	○		○
専門科目	教育・保育分野	初等教科教育法(算数)(B)	◎		◎			◎	○		○
専門科目	教育・保育分野	初等教科教育法(理科)(A)	◎		◎			◎	○		○
専門科目	教育・保育分野	初等教科教育法(理科)(B)	◎		◎			◎	○		○
専門科目	教育・保育分野	初等教科教育法(英語)	◎		◎			◎	○		○
専門科目	教育・保育分野	初等教科教育法(生活)(A)	◎		◎			◎	○		○
専門科目	教育・保育分野	初等教科教育法(生活)(B)	◎		◎			◎	○		○
専門科目	教育・保育分野	初等教科教育法(音楽)(A)	◎		◎			◎	○		○
専門科目	教育・保育分野	初等教科教育法(音楽)(B)	◎		◎			◎	○		○
専門科目	教育・保育分野	初等教科教育法(図画工作)(A)	◎		◎			◎	○		○
専門科目	教育・保育分野	初等教科教育法(図画工作)(B)	◎		◎			◎	○		○
専門科目	教育・保育分野	初等教科教育法(家庭)(A)	◎		◎			◎	○		○
専門科目	教育・保育分野	初等教科教育法(家庭)(B)	◎		◎			◎	○		○
専門科目	教育・保育分野	初等教科教育法(体育)(A)	◎		◎			◎	○		○
専門科目	教育・保育分野	初等教科教育法(体育)(B)	◎		◎			◎	○		○
専門科目	教育・保育分野	国語(A)	◎		○			○	○		○
専門科目	教育・保育分野	国語(B)	◎		○			○	○		○
専門科目	教育・保育分野	児童文学	◎		○			○	○		○
専門科目	教育・保育分野	社会(A)	◎		○			○	○		○
専門科目	教育・保育分野	社会(B)	◎		○			○	○		○
専門科目	教育・保育分野	算数(A)	◎		○			○	○		○

学位授与方針と各科目の関連(教育学部こども発達学科)

教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー	ディプロマ・ポリシー												備考
	知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
知識・理解													
1.自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2.教育・保育・心理・福祉の観点から、高く総合的な知性を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3.教育者・保育者として現代的課題に対応できる、実践的支援力を修得している。(専門分野に関する知識・理解)													
技能													
4.教育者・保育者としての課題を発見し、それに対応できる実践的技能を修得している。(問題発見・解決力) 5.国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)													
思考・判断・表現													
6.子どもや家庭、また、地域の教育・保育の社会的・文化的背景を理解したうえで、自分自身の態度や経験を考えることができる。(多文化での共生) 7.倫理観と公平・公正の精神をもつてものごとについて考え、教育者・保育者としての適切な判断を行なうことができる。(倫理観、公平・公正な判断) 8.多様な立場・観点からものごとをみつめるとともに、自身の考え方・意見を必要な表現手段を用いて効果的に発信することができる。(傾聴と発信)													
関心・意欲・態度													
9.生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10.教育者・保育者として、社会的な役割と責任とを果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 11.教育・保育・心理・福祉を中心とした幅広い知識と視野のもとに、様々な背景を持った他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12.現代的課題について、教育者・保育者として誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)													
幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観・公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク・他者との協働	建学の精神の実践・奉仕動機		

科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる)			○(一部当てはまる)								
専門科目	教育・保育分野	算数(B)	◎		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	理科(A)	◎		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	理科(B)	◎		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	理科実験(A)	◎		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	理科実験(B)	◎		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	英語	◎		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	生活(A)	◎		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	生活(B)	◎		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	音楽 I (A)	◎		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	音楽 I (B)	◎		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	音楽 I (C)	◎		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	音楽 II (A)	◎		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	音楽 II (B)	◎		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	音楽 II (C)	◎		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	ピアノ(A)	◎		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	ピアノ(B)	◎		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	ピアノ(C)	◎		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	ピアノ(D)	◎		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	ピアノ(E)	◎		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	ピアノ(F)	◎		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	ピアノ(G)	◎		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	ピアノ(H)	◎		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	ピアノ(I)	◎		○			○	○		○			

学位授与方針と各科目の関連(教育学部こども発達学科)

教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー	ディプロマ・ポリシー												備考
	知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
知識・理解													
1.自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2.教育・保育・心理・福祉の観点から、高く総合的な知性を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3.教育者・保育者として現代的課題に対応できる、実践的支援力を修得している。(専門分野に関する知識・理解)													
技能													
4.教育者・保育者としての課題を発見し、それに対応できる実践的技能を修得している。(問題発見・解決力) 5.国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)													
思考・判断・表現													
6.子どもや家庭、また、地域の教育・保育の社会的・文化的背景を理解したうえで、自分自身の態度や経験を考えることができる。(多文化での共生) 7.倫理観と公平・公正の精神をもつてものごとについて考え、教育者・保育者としての適切な判断を行なうことができる。(倫理観、公平・公正な判断) 8.多様な立場・観点からものごとをみつめるとともに、自身の考え方・意見を必要な表現手段を用いて効果的に発信することができる。(傾聴と発信)													
関心・意欲・態度													
9.生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10.教育者・保育者として、社会的な役割と責任とを果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 11.教育・保育・心理・福祉を中心とした幅広い知識と視野のもとに、様々な背景を持った他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12.現代的課題について、教育者・保育者として誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)													
幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観・公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク・他者との協働	建学の精神の実践・奉仕動機		

科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる)			○(一部当てはまる)								
専門科目	教育・保育分野	ピアノ(J)	○		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	ピアノ(K)	○		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	ピアノ(L)	○		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	ピアノ(M)	○		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	ピアノ(N)	○		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	ピアノ(O)	○		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	ピアノ(P)	○		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	ピアノ(Q)	○		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	ピアノ(R)	○		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	ピアノ(S)	○		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	ピアノ(T)	○		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	ピアノ(U)	○		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	ピアノ(V)	○		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	造形(A)	○		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	造形(B)	○		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	造形(C)	○		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	家庭(A)	○		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	家庭(B)	○		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	体育(A)	○		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	体育(B)	○		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	体育(C)	○		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	体育(D)	○		○			○	○		○			
専門科目	教育・保育分野	リトミック	○		○			○	○		○			

学位授与方針と各科目の関連(教育学部こども発達学科)

教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー	ディプロマ・ポリシー												備考
	知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
知識・理解													
1.自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2.教育・保育・心理・福祉の観点から、高く総合的な知性を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3.教育者・保育者として現代的課題に対応できる、実践的支援力を修得している。(専門分野に関する知識・理解)													
技能													
4.教育者・保育者としての課題を発見し、それに対応できる実践的技能を修得している。(問題発見・解決力) 5.国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)													
思考・判断・表現													
6.子どもや家庭、また、地域の教育・保育の社会的・文化的背景を理解したうえで、自分自身の態度や経験を考えることができる。(多文化での共生) 7.倫理観と公平・公正の精神をもつてものごとについて考え、教育者・保育者としての適切な判断を行なうことができる。(倫理観、公平・公正な判断) 8.多様な立場・観点からものごとをみつめるとともに、自身の考え方・意見を必要な表現手段を用いて効果的に発信することができる。(傾聴と発信)													
関心・意欲・態度													
9.生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10.教育者・保育者として、社会的な役割と責任とを果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 11.教育・保育・心理・福祉を中心とした幅広い知識と視野のもとに、様々な背景を持った他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12.現代的課題について、教育者・保育者として誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)													
幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観・公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践・奉仕動機		

科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)									
専門科目	教育・保育分野	声楽	○		○			○	○			○
専門科目	教育・保育分野	器楽アンサンブル(A)	○		○			○	○			○
専門科目	教育・保育分野	器楽アンサンブル(B)	○		○			○	○			○
専門科目	教育・保育分野	特別支援教育基礎理論	○		○			○	○			○
専門科目	教育・保育分野	知的障害の教育Ⅰ	○		○			○	○			○
専門科目	教育・保育分野	知的障害の教育Ⅱ	○		○			○	○			○
専門科目	教育・保育分野	肢体不自由の教育Ⅰ	○		○			○	○			○
専門科目	教育・保育分野	肢体不自由の教育Ⅱ	○		○			○	○			○
専門科目	教育・保育分野	病弱の教育Ⅰ	○		○			○	○			○
専門科目	教育・保育分野	病弱の教育Ⅱ	○		○			○	○			○
専門科目	教育・保育分野	障害者援助技術演習	○		○			○	○			○
専門科目	教育・保育分野	視覚障害・聴覚障害教育総論	○		○			○	○			○
専門科目	教育・保育分野	重複障害・LD等教育総論	○		○			○	○			○
専門科目	教育・保育分野	自閉症・情緒障害教育総論	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	心理学の基礎Ⅰ	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	心理学の基礎Ⅱ	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	教育心理学(A)	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	教育心理学(B)	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	教育心理学演習(A)	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	教育心理学演習(B)	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	教育心理学演習(C)	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	心理学研究法	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	心理統計学(A)	○		○			○	○			○

学位授与方針と各科目の関連(教育学部こども発達学科)

教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー	ディプロマ・ポリシー												備考
	知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
知識・理解													
1.自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2.教育・保育・心理・福祉の観点から、高く総合的な知性を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3.教育者・保育者として現代的課題に対応できる、実践的支援力を修得している。(専門分野に関する知識・理解)													
技能													
4.教育者・保育者としての課題を発見し、それに対応できる実践的技能を修得している。(問題発見・解決力) 5.国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)													
思考・判断・表現													
6.子どもや家庭、また、地域の教育・保育の社会的・文化的背景を理解したうえで、自分自身の態度や経験を考えることができる。(多文化での共生) 7.倫理観と公平・公正の精神をもつてものごとについて考え、教育者・保育者としての適切な判断を行なうことができる。(倫理観、公平・公正な判断) 8.多様な立場・観点からものごとをみつめるとともに、自身の考え方・意見を必要な表現手段を用いて効果的に発信することができる。(傾聴と発信)													
関心・意欲・態度													
9.生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10.教育者・保育者として、社会的な役割と責任とを果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 11.教育・保育・心理・福祉を中心とした幅広い知識と視野のもとに、様々な背景を持った他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12.現代的課題について、教育者・保育者として誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)													
幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観・公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク・他者との協働	建学の精神の実践・奉仕動機		

科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)									
専門科目	心理分野	心理統計学(B)	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	心理学基礎実験(A)	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	心理学基礎実験(B)	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	心理学実験実習Ⅰ(A)	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	心理学実験実習Ⅰ(B)	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	心理学実験実習Ⅱ	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	心理学実験実習Ⅲ	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	言語心理学	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	認知心理学	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	発達心理学(A)	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	発達心理学(B)	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	乳幼児発達心理学(A)	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	乳幼児発達心理学(B)	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	幼児理解(A)	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	幼児理解(B)	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	臨床心理学	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	臨床心理学実習	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	精神保健	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	カウンセリング概論	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	カウンセリング演習	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	障害児心理学(A)	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	障害児心理学(B)	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	神経心理学	○		○			○	○			○

学位授与方針と各科目の関連(教育学部こども発達学科)

ディプロマ・ポリシー													
知識・理解 技能 思考・判断・表現 関心・意欲・態度													
1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー	幅広い教養 専門分野に関する知識・理解 地域に関する知識・理解 問題発見・解決力 国際協働力 多文化での共生 倫理観・公平・公正な判断 倾聴と発信 生涯学び続ける意欲 社会参加への主体性 チームワーク・他者との協働 建学の精神の実践・奉仕動機	教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー	幅広い教養 専門分野に関する知識・理解 地域に関する知識・理解 問題発見・解決力 国際協働力 多文化での共生 倫理観・公平・公正な判断 倾聴と発信 生涯学び続ける意欲 社会参加への主体性 チームワーク・他者との協働 建学の精神の実践・奉仕動機										
知識・理解	1.自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2.教育・保育・心理・福祉の観点から、高く総合的な知性を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3.教育者・保育者として現代的課題に対応できる、実践的支援力を修得している。(専門分野に関する知識・理解)	1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
技能	4.教育者・保育者としての課題を発見し、それに対応できる実践的技能を修得している。(問題発見・解決力) 5.国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)												
思考・判断・表現	6.子どもや家庭、また、地域の教育・保育の社会的・文化的背景を理解したうえで、自分自身の態度や経験を考えることができる。(多文化での共生) 7.倫理観と公平・公正の精神をもつてものごとについて考え、教育者・保育者としての適切な判断を行うことができる。(倫理観、公平・公正な判断) 8.多様な立場・観点からものごとをみつめるとともに、自身の考え方・意見を必要な表現手段を用いて効果的に発信することができる。(傾聴と発信)												
関心・意欲・態度	9.生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10.教育者・保育者として、社会的な役割と責任とを果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 11.教育・保育・心理・福祉を中心とした幅広い知識と視野のもとに、様々な背景を持った他者を尊重して協働できる。(チームワーク・他者との協働) 12.現代的課題について、教育者・保育者として誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)												

科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)									
専門科目	心理分野	社会心理学	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	家族心理学	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	子ども家庭支援の心理学(A)	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	子ども家庭支援の心理学(B)	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	人間関係演習	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	教育・保育相談	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	学校心理学	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	知的障害の心理・生理・病理	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	肢体不自由の心理・生理・病理	○		○			○	○			○
専門科目	心理分野	病弱の心理・生理・病理	○		○			○	○			○
専門科目	健康・福祉分野	社会福祉(A)	○		○			○	○			○
専門科目	健康・福祉分野	社会福祉(B)	○		○			○	○			○
専門科目	健康・福祉分野	相談援助(A)	○		○			○	○			○
専門科目	健康・福祉分野	相談援助(B)	○		○			○	○			○
専門科目	健康・福祉分野	相談援助(C)	○		○			○	○			○
専門科目	健康・福祉分野	保育相談支援(A)	○		○			○	○			○
専門科目	健康・福祉分野	保育相談支援(B)	○		○			○	○			○
専門科目	健康・福祉分野	保育相談支援(C)	○		○			○	○			○
専門科目	健康・福祉分野	子育て支援	○		○			○	○			○
専門科目	健康・福祉分野	児童家庭福祉 I (A)	○		○			○	○			○
専門科目	健康・福祉分野	児童家庭福祉 I (B)	○		○			○	○			○
専門科目	健康・福祉分野	子ども家庭福祉 I (A)	○		○			○	○			○
専門科目	健康・福祉分野	子ども家庭福祉 I (B)	○		○			○	○			○

備考

学位授与方針と各科目の関連(教育学部こども発達学科)

教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー	ディプロマ・ポリシー											
	知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度			
1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
知識・理解 1.自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2.教育・保育・心理・福祉の観点から、高く総合的な知性を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3.教育者・保育者として現代的課題に対応できる、実践的支援力を修得している。(専門分野に関する知識・理解)	幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	倫理観・公平・公正な判断	多文化での共生	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機	
技能 4.教育者・保育者としての課題を発見し、それに対応できる実践的技能を修得している。(問題発見・解決力) 5.国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)												
思考・判断・表現 6.子どもや家庭、また、地域の教育・保育の社会的・文化的背景を理解したうえで、自分自身の態度や経験を考えることができる。(多文化での共生) 7.倫理観と公平・公正の精神をもつてものごとについて考え、教育者・保育者としての適切な判断を行なうことができる。(倫理観、公平・公正な判断) 8.多様な立場・観点からものごとをみつめるとともに、自身の考え方・意見を必要な表現手段を用いて効果的に発信することができる。(傾聴と発信)												
関心・意欲・態度 9.生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10.教育者・保育者として、社会的な役割と責任とを果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 11.教育・保育・心理・福祉を中心とした幅広い知識と視野のもとに、様々な背景を持った他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12.現代的課題について、教育者・保育者として誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)												

科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)									
専門科目	健康・福祉分野	児童家庭福祉Ⅱ	○		○			○	○			○
専門科目	健康・福祉分野	子ども家庭福祉Ⅱ	○		○			○	○			○
専門科目	健康・福祉分野	社会的養護Ⅰ(A)	○		○			○	○			○
専門科目	健康・福祉分野	社会的養護Ⅰ(B)	○		○			○	○			○
専門科目	健康・福祉分野	社会的養護Ⅱ	○		○			○	○			○
専門科目	健康・福祉分野	家庭支援論(A)	○		○			○	○			○
専門科目	健康・福祉分野	家庭支援論(B)	○		○			○	○			○
専門科目	健康・福祉分野	子どもの保健Ⅰ-1(A)	○		○			○	○			○
専門科目	健康・福祉分野	子どもの保健Ⅰ-1(B)	○		○			○	○			○
専門科目	健康・福祉分野	子どもの保健(A)	○		○			○	○			○
専門科目	健康・福祉分野	子どもの保健(B)	○		○			○	○			○
専門科目	健康・福祉分野	子どもの保健Ⅰ-2(A)	○		○			○	○			○
専門科目	健康・福祉分野	子どもの保健Ⅰ-2(B)	○		○			○	○			○
専門科目	健康・福祉分野	子どもの保健Ⅱ(A)	○		○			○	○			○
専門科目	健康・福祉分野	子どもの保健Ⅱ(B)	○		○			○	○			○
専門科目	健康・福祉分野	子どもの保健Ⅱ(C)	○		○			○	○			○
専門科目	健康・福祉分野	子どもの健康と安全(A)	○		○			○	○			○
専門科目	健康・福祉分野	子どもの健康と安全(B)	○		○			○	○			○
専門科目	健康・福祉分野	子どもの食と栄養(A)	○		○			○	○			○
専門科目	健康・福祉分野	子どもの食と栄養(B)	○		○			○	○			○
専門科目	健康・福祉分野	子どもの食と栄養(C)	○		○			○	○			○
専門科目	総合分野	教職実践演習(幼・小)(A)	○		○			○	○	○	○	○
専門科目	総合分野	教職実践演習(幼・小)(B)	○		○			○	○	○	○	○

備考

学位授与方針と各科目の関連(教育学部こども発達学科)

教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー	ディプロマ・ポリシー												備考
	知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
知識・理解													
1.自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2.教育・保育・心理・福祉の観点から、高く総合的な知性を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3.教育者・保育者として現代的課題に対応できる、実践的支援力を修得している。(専門分野に関する知識・理解)													
技能													
4.教育者・保育者としての課題を発見し、それに対応できる実践的技能を修得している。(問題発見・解決力) 5.国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)													
思考・判断・表現													
6.子どもや家庭、また、地域の教育・保育の社会的・文化的背景を理解したうえで、自分自身の態度や経験を考えることができる。(多文化での共生) 7.倫理観と公平・公正の精神をもつてものごとについて考え、教育者・保育者としての適切な判断を行なうことができる。(倫理観、公平・公正な判断) 8.多様な立場・観点からものごとをみつめるとともに、自身の考え方・意見を必要な表現手段を用いて効果的に発信することができる。(傾聴と発信)													
関心・意欲・態度													
9.生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10.教育者・保育者として、社会的な役割と責任とを果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 11.教育・保育・心理・福祉を中心とした幅広い知識と視野のもとに、様々な背景を持った他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12.現代的課題について、教育者・保育者として誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)													
幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観・公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践・奉仕動機		

科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)									
専門科目	総合分野	教職実践演習(幼・小)(C)		○		○		○	○	○	○	○
専門科目	総合分野	教職実践演習(幼・小)(D)		○		○		○	○	○	○	○
専門科目	総合分野	教職実践演習(幼・小)(E)		○		○		○	○	○	○	○
専門科目	総合分野	教職実践演習(幼・小)(F)		○		○		○	○	○	○	○
専門科目	総合分野	教職実践演習(幼・小)(G)		○		○		○	○	○	○	○
専門科目	総合分野	教職実践演習(幼・小)(H)		○		○		○	○	○	○	○
専門科目	総合分野	教職実践演習(幼・小)(I)		○		○		○	○	○	○	○
専門科目	総合分野	教職実践演習(幼・小)(J)		○		○		○	○	○	○	○
専門科目	総合分野	教職実践演習(幼・小)(K)		○		○		○	○	○	○	○
専門科目	総合分野	教職実践演習(幼・小)(L)		○		○		○	○	○	○	○
専門科目	総合分野	教職実践演習(幼・小)(M)		○		○		○	○	○	○	○
専門科目	総合分野	教職実践演習(幼・小)(N)		○		○		○	○	○	○	○
専門科目	総合分野	フィールドワーク(こども理解)		○		○		○	○	○	○	○
専門科目	総合分野	体育講義		○		○		○	○	○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールⅠ(青戸)		○		○		○	○	○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールⅠ(東(卓))		○		○		○	○	○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールⅠ(石渡)		○		○		○	○	○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールⅠ(伊藤(賀))		○		○		○	○	○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールⅠ(浮田)		○		○		○	○	○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールⅠ(大崎)		○		○		○	○	○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールⅠ(太田(俊))		○		○		○	○	○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールⅠ(小原)		○		○		○	○	○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールⅠ(久保)		○		○		○	○	○	○	○

学位授与方針と各科目の関連(教育学部こども発達学科)

教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー	ディプロマ・ポリシー												備考
	知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
知識・理解													
1.自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2.教育・保育・心理・福祉の観点から、高く総合的な知性を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3.教育者・保育者として現代的課題に対応できる、実践的支援力を修得している。(専門分野に関する知識・理解)													
技能													
4.教育者・保育者としての課題を発見し、それに対応できる実践的技能を修得している。(問題発見・解決力) 5.国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)													
思考・判断・表現													
6.子どもや家庭、また、地域の教育・保育の社会的・文化的背景を理解したうえで、自分自身の態度や経験を考えることができる。(多文化での共生) 7.倫理観と公平・公正の精神をもつてものごとについて考え、教育者・保育者としての適切な判断を行なうことができる。(倫理観、公平・公正な判断) 8.多様な立場・観点からものごとをみつめるとともに、自身の考え方・意見を必要な表現手段を用いて効果的に発信することができる。(傾聴と発信)													
関心・意欲・態度													
9.生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10.教育者・保育者として、社会的な役割と責任とを果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 11.教育・保育・心理・福祉を中心とした幅広い知識と視野のもとに、様々な背景を持った他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12.現代的課題について、教育者・保育者として誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)													
幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観・公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク・他者との協働	建学の精神の実践・奉仕動機		

科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる)			○(一部当てはまる)					
専門科目	総合分野	ゼミナールⅠ(黒田)	○			○			○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールⅠ(城倉)	○			○			○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールⅠ(鈴木(公))	○			○			○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールⅠ(土谷)	○			○			○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールⅠ(照沼)	○			○			○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールⅠ(藤馬)	○			○			○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールⅠ(三谷)	○			○			○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールⅠ(山下)	○			○			○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールⅠ(横浜)	○			○			○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールⅡ(青戸)	○			○			○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールⅡ(東(卓))	○			○			○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールⅡ(石渡)	○			○			○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールⅡ(伊藤(賀))	○			○			○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールⅡ(浮田)	○			○			○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールⅡ(大崎)	○			○			○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールⅡ(太田(俊))	○			○			○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールⅡ(小原)	○			○			○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールⅡ(久保)	○			○			○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールⅡ(黒田)	○			○			○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールⅡ(城倉)	○			○			○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールⅡ(鈴木(公))	○			○			○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールⅡ(土谷)	○			○			○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールⅡ(照沼)	○			○			○	○	○

学位授与方針と各科目の関連(教育学部こども発達学科)

教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー	ディプロマ・ポリシー												備考
	知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
知識・理解													
1.自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2.教育・保育・心理・福祉の観点から、高く総合的な知性を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3.教育者・保育者として現代的課題に対応できる、実践的支援力を修得している。(専門分野に関する知識・理解)													
技能													
4.教育者・保育者としての課題を発見し、それに対応できる実践的技能を修得している。(問題発見・解決力) 5.国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)													
思考・判断・表現													
6.子どもや家庭、また、地域の教育・保育の社会的・文化的背景を理解したうえで、自分自身の態度や経験を考えることができる。(多文化での共生) 7.倫理観と公平・公正の精神をもつてものごとについて考え、教育者・保育者としての適切な判断を行なうことができる。(倫理観、公平・公正な判断) 8.多様な立場・観点からものごとをみつめるとともに、自身の考え方・意見を必要な表現手段を用いて効果的に発信することができる。(傾聴と発信)													
関心・意欲・態度													
9.生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10.教育者・保育者として、社会的な役割と責任とを果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 11.教育・保育・心理・福祉を中心とした幅広い知識と視野のもとに、様々な背景を持った他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12.現代的課題について、教育者・保育者として誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)													
幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観・公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク・他者との協働	建学の精神の実践・奉仕動機		

科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)											
専門科目	総合分野	ゼミナールⅡ(藤馬)		◎		◎		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	総合分野	ゼミナールⅡ(三谷)		◎		◎		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	総合分野	ゼミナールⅡ(山下)		◎		◎		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	総合分野	ゼミナールⅡ(横浜)		◎		◎		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	総合分野	ゼミナールⅢ(青戸)		◎		◎		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	総合分野	ゼミナールⅢ(東)		◎		◎		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	総合分野	ゼミナールⅢ(石渡)		◎		◎		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	総合分野	ゼミナールⅢ(伊藤(賀))		◎		◎		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	総合分野	ゼミナールⅢ(浮田)		◎		◎		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	総合分野	ゼミナールⅢ(大崎)		◎		◎		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	総合分野	ゼミナールⅢ(太田(俊))		◎		◎		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	総合分野	ゼミナールⅢ(小原)		◎		◎		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	総合分野	ゼミナールⅢ(久保)		◎		◎		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	総合分野	ゼミナールⅢ(黒田)		◎		◎		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	総合分野	ゼミナールⅢ(城倉)		◎		◎		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	総合分野	ゼミナールⅢ(鈴木(公))		◎		◎		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	総合分野	ゼミナールⅢ(土谷)		◎		◎		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	総合分野	ゼミナールⅢ(照沼)		◎		◎		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	総合分野	ゼミナールⅢ(藤馬)		◎		◎		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	総合分野	ゼミナールⅢ(三谷)		◎		◎		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	総合分野	ゼミナールⅢ(山下)		◎		◎		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	総合分野	ゼミナールⅢ(横浜)		◎		◎		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	総合分野	ゼミナールⅣ(青戸)		◎		◎		◎	◎	○	○	○	○	

学位授与方針と各科目の関連(教育学部こども発達学科)

教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー	ディプロマ・ポリシー												備考
	知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
知識・理解													
1.自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2.教育・保育・心理・福祉の観点から、高く総合的な知性を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3.教育者・保育者として現代的課題に対応できる、実践的支援力を修得している。(専門分野に関する知識・理解)													
技能													
4.教育者・保育者としての課題を発見し、それに対応できる実践的技能を修得している。(問題発見・解決力) 5.国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)													
思考・判断・表現													
6.子どもや家庭、また、地域の教育・保育の社会的・文化的背景を理解したうえで、自分自身の態度や経験を考えることができる。(多文化での共生) 7.倫理観と公平・公正の精神をもつてものごとについて考え、教育者・保育者としての適切な判断を行なうことができる。(倫理観、公平・公正な判断) 8.多様な立場・観点からものごとをみつめるとともに、自身の考え方・意見を必要な表現手段を用いて効果的に発信することができる。(傾聴と発信)													
関心・意欲・態度													
9.生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10.教育者・保育者として、社会的な役割と責任とを果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 11.教育・保育・心理・福祉を中心とした幅広い知識と視野のもとに、様々な背景を持った他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12.現代的課題について、教育者・保育者として誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)													
幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観・公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク・他者との協働	建学の精神の実践・奉仕動機		

科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)									
専門科目	総合分野	ゼミナールIV(東)		◎		◎		◎	◎	○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールIV(石渡)		◎		◎		◎	◎	○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールIV(伊藤(賀))		◎		◎		◎	◎	○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールIV(浮田)		◎		◎		◎	◎	○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールIV(大崎)		◎		◎		◎	◎	○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールIV(太田(俊))		◎		◎		◎	◎	○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールIV(小原)		◎		◎		◎	◎	○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールIV(久保)		◎		◎		◎	◎	○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールIV(黒田)		◎		◎		◎	◎	○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールIV(城倉)		◎		◎		◎	◎	○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールIV(鈴木(公))		◎		◎		◎	◎	○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールIV(土谷)		◎		◎		◎	◎	○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールIV(照沼)		◎		◎		◎	◎	○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールIV(藤馬)		◎		◎		◎	◎	○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールIV(三谷)		◎		◎		◎	◎	○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールIV(山下)		◎		◎		◎	◎	○	○	○
専門科目	総合分野	ゼミナールIV(横浜)		◎		◎		◎	◎	○	○	○
専門科目	キャリア分野	教職基礎演習I		○		○				◎	◎	○
専門科目	キャリア分野	教職基礎演習II		○		○				◎	◎	○
専門科目	キャリア分野	教職キャリア演習I		○		○				◎	◎	○
専門科目	キャリア分野	教職キャリア演習II		○		○				◎	◎	○
専門科目	キャリア分野	保育キャリア演習I		○		○				◎	◎	○
専門科目	キャリア分野	保育キャリア演習II		○		○				◎	◎	○

学位授与方針と各科目の関連(教育学部こども発達学科)			ディプロマ・ポリシー										
教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度		
1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	建学の精神の実践、奉仕動機	
知識・理解													
1.自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養)													
2.教育・保育・心理・福祉の観点から、高く総合的な知性を修得している。(専門分野に関する知識・理解)													
3.教育者・保育者として現代的課題に対応できる、実践的支援力を修得している。(専門分野に関する知識・理解)													
技能													
4.教育者・保育者としての課題を発見し、それに対応できる実践的技能を修得している。(問題発見・解決力)													
5.国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)													
思考・判断・表現													
6.子どもや家庭、また、地域の教育・保育の社会的・文化的背景を理解したうえで、自分自身の態度や経験を考えることができる。(多文化での共生)													
7.倫理観と公平・公正の精神をもつてものごとについて考え、教育者・保育者としての適切な判断を行うことができる。(倫理観、公平・公正な判断)													
8.多様な立場・観点からものごとをみつめるとともに、自身の考え方・意見を必要な表現手段を用いて効果的に発信することができる。(傾聴と発信)													
関心・意欲・態度													
9.生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲)													
10.教育者・保育者として、社会的な役割と責任とを果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性)													
11.教育・保育・心理・福祉を中心とした幅広い知識と視野のもとに、様々な背景を持った他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働)													
12.現代的課題について、教育者・保育者として誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)													
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる)			○(一部当てはまる)							
専門科目	実習分野	教育実習指導Ⅰ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専門科目	実習分野	教育実習Ⅰ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専門科目	実習分野	教育実習指導Ⅱ(幼稚園)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専門科目	実習分野	教育実習Ⅱ(幼稚園)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専門科目	実習分野	教育実習指導Ⅲ(小学校)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専門科目	実習分野	教育実習Ⅲ(小学校)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専門科目	実習分野	特別支援教育実習指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専門科目	実習分野	特別支援教育実習	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専門科目	実習分野	学校インターンシップⅠ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専門科目	実習分野	学校インターンシップⅡ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専門科目	実習分野	保育実習指導Ⅰ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専門科目	実習分野	保育実習Ⅰ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専門科目	実習分野	保育実習指導Ⅱ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専門科目	実習分野	保育実習Ⅱ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専門科目	実習分野	保育実習指導Ⅲ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専門科目	実習分野	保育実習Ⅲ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
共通科目	人文分野	環境文化論	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
共通科目	社会分野	大学と社会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
共通科目	社会分野	文献情報検索法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
共通科目	社会分野	文献情報検索演習	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
共通科目	自然分野	組織と環境保全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
共通科目	その他の外国語分野	ドイツ語Ⅰ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
共通科目	その他の外国語分野	ドイツ語Ⅱ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

備考

学位授与方針と各科目の関連(教育学部こども発達学科)

教育学部こども発達学科ディプロマ・ポリシー	ディプロマ・ポリシー											
	知識・理解			技能		思考・判断・表現			关心・意欲・態度			
1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
知識・理解 1.自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2.教育・保育・心理・福祉の観点から、高く総合的な知性を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3.教育者・保育者として現代的課題に対応できる、実践的支援力を修得している。(専門分野に関する知識・理解)	幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	倫理観・公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機	
技能 4.教育者・保育者としての課題を発見し、それに対応できる実践的技能を修得している。(問題発見・解決力) 5.国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)												
思考・判断・表現 6.子どもや家庭、また、地域の教育・保育の社会的・文化的背景を理解したうえで、自分自身の態度や経験を考えることができる。(多文化での共生) 7.倫理観と公平・公正の精神をもつてものごとについて考え、教育者・保育者としての適切な判断を行なうことができる。(倫理観、公平・公正な判断) 8.多様な立場・観点からものごとをみつめるとともに、自身の考え方・意見を必要な表現手段を用いて効果的に発信することができる。(傾聴と発信)												
关心・意欲・態度 9.生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10.教育者・保育者として、社会的な役割と責任とを果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 11.教育・保育・心理・福祉を中心とした幅広い知識と視野のもとに、様々な背景を持った他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12.現代的課題について、教育者・保育者として誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)												

科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)									
専門科目	学部基幹科目	人間環境論入門	○	○		○				○		○
専門科目	学部基幹科目	人間と倫理	○	○		○		○		○		○
専門科目	学部基幹科目	人間と自然	○	○		○				○		○
専門科目	学部基幹科目	人間と文化	○	○		○				○		○
専門科目	学部基幹科目	人間と社会	○	○		○				○	○	○
共通科目	キリスト教分野	キリスト教と現代社会(A)	○	○		○	○	○	○	○	○	○

備考